

ふるさとわかがまちづくり

保見緑苑自治区

◆「保見緑苑」の由来

豊田市街西方7kmの地「保見地区」の緑に囲まれた丘陵地に、名鉄・住宅公団・愛知県の三者共同開発による総面積662,254㎡、県下でも有数の約4,000戸の保見団地があります。

その中の北西部に名鉄の開発した一戸建て住宅居住区があります。それが、保見緑苑自治区です。恵まれた自然環境の中にあって、近くに愛環鉄道「保見駅」、名鉄豊田新線「浄水駅」、中京大学豊田校舎があります。

昭和50年に入居が始まって34年。平成21年4月現在では、世帯数539戸、約1,600名が住んでいる町です。

高齢化の進む中、60歳代が圧倒的に多い人口構成ですが、平成21年4月1日現在で、平均年齢は48.7歳、中央値55歳、最高年齢97歳です。また、75歳以上は6.2%、15歳未満は7.8%の比率になっています。

平均年齢から見れば、この保見緑苑はまだまだ若い街ではないかという見方もあります。

子供たちの通う西保見小学校では、外国人(主にブラジル人)の児童が日本人の数を上回っています。貴重な国際交流の場でもありますが、住民全体が、外国人との共生を、真剣に考えていかねばならぬ時期に来ているようです。また学校では、放課後の児童の宿題、外国語支援、遊びの面倒を見るボランティア活動(パラソル)が行われており、自治区有志や老人クラブメン



バーが参加しています(週2日)。

年一回の夏祭り(4自治区共催)、2か月に一回の全員参加の一斉清掃、月2回の行事予定や市からの配布文書、お知らせなどの回覧周知、年4回の「緑苑新聞」の発行など地域の連帯を深めています。

平成18年からは、地域の防犯活動の推進の為、「保見緑苑青色パトロール隊」が隊員9名で発足し、毎週土曜日19時より、青色回転灯を備えた車両による巡回防犯パトロール活動を実施しています。隊員が増え、現在、39名で活動しています。

青パト運行資格者も24名に増え、活動回数も増やし、さらに安全で安心なまちにしていくことが念願です。

老人クラブ(みどり会)も元気に多彩に活動しています。会長の田口睦司さんは、「加齢による体力・知力の減退は止むを得ませんが、日頃から肉体的にも精神的にも元気でありたいものです。こんな願いから体力アップやウォーキング、手先を動かす小物作り、囲碁・将棋・読書会やオカリナ演奏など、9つのサークルが活動しています。



遠い親戚よりも地域での仲間作り。その仲間との健康づくりが生活を豊かにし、地域を豊かにし、自分自身にも生き甲斐が実感できる、こんな事を願っています」と語っています。高齢化社会に向け、住民全体がどう向きあっていくのか、助け合っていけるのかが、課題といえそうです。



保見緑苑自治区データ (H21.4現在)

設立：昭和54年
世帯数：539世帯
349世帯(昭和54年)
組数：32組
面積：0.302K㎡
自治区たより：「緑苑新聞」
回覧：月2回
防犯灯設置箇所：120箇所
小学校：西保見小学校区
自治区会館：保見緑苑区民会館